

# 目国内岳1,220m(前目国内コース)

2018,5,1

山行日	H30年4月29日(祭日)
山行形式	日帰り登山
参加者	藤木晴リーダー
計14名	相馬、西田芳、山岸、八重樫、門馬、小山内、長沼、渡辺、酒井、安藤、笹山、太田、後藤
天候	快晴 登山口11℃

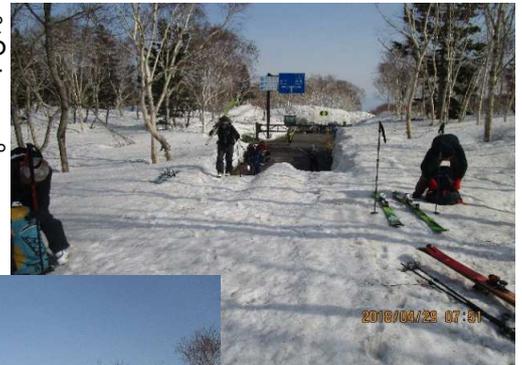
チセヌプリスキー場Pに、7:30集合。11名はマッサンヒュッテ前泊より、3名は早朝自宅出。天候は前日の羊蹄山登山と同じく快晴、11℃と暖かい。

4台の車に分乗、パノラマラインを岩内方面に走る。両脇に雪の壁が残る、いつから除雪が入ったのか連休に合わせて、終わらせたのだ。このルートから入れる事に感謝。2m程の雪積の壁を階段(前任者が付けた)をスキーを担いで揚がる

G氏の体操、リーダーのビーコンチェックをし、8:15新見峠に向け雪の町道をスキーで歩く、右に岩内岳、左に白樺山の裾野。

歩く事50分 右へ曲がり橋が現れ、ここより前目国内へ直登になる。ここでO氏が、腰のアンバイ悪くリタイヤ。車で待っていると。事。

(山行時間) 本人は本当に残念と思います。



N氏を先頭に13名モクモクと整列し30分で前目国内の頂上だ。リタイヤのO氏いわく下山段取りして振り返ったら、もう尾根の頂上にいたそう!

時刻	場所・状況・行動
8:15	パノラマライン登山口
9:05	橋、前目国内岳取り付き
9:35	前目国内岳
10:10	取り付きコル(スキーアイゼン装着)
11:15	頂上
12:10	昼食、下山開始
14:10	P場登山口
登山hr	登り3H 下り2H



前目国内の頂上を(雪が解け笹山)右にトラバース。真西に青空の中に本峰目国内岳頂上がクッキリ見え出す。

下がって登って、まだまだ遠くだ。



本峰取り付きコルc900mでスキーアイゼン装着。S氏トップでジグを切りアイゼン利かして、頑張り登る。



2度の休憩を入れ、一騎に登る。

いよいよ岩峰の頂上直下。11:15 雪解けが進みスキーデポし壺足で頂上アタツク、風が強く狭い岩峰の頂上。360°の展望も強い風で記念写真をそこそこに降り、岩峰の風の無いとこで大展望を見ながら昼食。

下山は、今回待望の北斜面の大滑走だ。広大な斜面、適度な角度。皆な思い思いに楽しんで滑り降りる。その時間は5分かな、転倒の方で15分。大きなシュプールの方、直線的な方と、皆な上手。



再度シールを付け、尾根からの大きな崩壊デブリを右に見て前目国内へ登り返し雪解けの標識で集合写真を撮り、東斜面を滑りまくる。O氏と別れた橋地、13:35

13℃。後は緩斜面の林道を滑りP場着。14:10 春スキーの醍醐味を観た、大満足の山行でした。

早朝から駆け付けたリーダー、3名のサブリーダー長距離の運転者様、有難う御座いました。そうそう、難しい今回の会計様にも感謝。

